

私を変えてくれた姉の言葉

青森県青森市立造道中学校

三年 網 塚 さえ香

「さえに友達ができないのは、相手のことを理解しようとする力がないからなんじゃない。」この言葉は、私が中学一年生のとき姉に言われた言葉だ。

その頃は、友達が一人もいなかった。他人を理解しようともせず、自分と違う考え方だと決めつけて、殻に閉じこもっていたのだ。にもかかわらず、その頃はオーストラリアへの留学を決心していた。将来は世界に貢献したいという、大きな夢を持っていたからだ。今でこそそれがどんなに矛盾したことが分かるが、当時の私にはそれが分からなかったのだ。そんな姉にその言葉をかけられ、姉に言われた通り留学でたくさんの人とコミュニケーションをとろうと決意したのだ。

留学当日。頼りない背中には似合わない大きなリュックサックを背負って、一人の少女は旅立った。私が留学の中で最初にぶち当たったのは、言葉の壁であった。たくさんの子供がいるホストファミリーの家では、いつも忙しそうなお母さんとは話すタイミングがなく、家事を手伝おうとしても断られるような状況であった。ようやく話せたかと思えば、感謝の気持ちや自分の考えなど、うまく表現することができずともどかしかった。「このままでは

何も得ることのないまま留学が終わってしまおう。」

そう焦りはじめた時、姉の言葉が私の頭をよぎった。私は、相手のことを理解しようとせず、独りよがりな話し方しか考えていなかったのだ。私はその言葉を思い出すと同時に、大きな決心をした。

「留学、こんなことでは終わらせない。」

私はその日から、「相手を理解しようと努力すること」を大切に人と接し、自分にできる最大限のことを考えた。ホストマザーのために自分ができるところを考え、幼い子供たちの面倒を見始めた。最初はうまく言葉が伝わらず、何をしてもいいから分からなかったが、相手を理解しようと、精いっぱい子供たちとも接した。日本から持ってきた折り紙を折って見せ、一緒に作ったり、英語の本と一緒に読んだりする中で、すぐに打ち解けられた。留学の最終日に、ホストマザーからお礼を言われた時、「相手を理解する」ということの喜びを、初めて知ったように感じた。留学中には、他にも様々な人とコミュニケーションをとる機会があったが、それらの中には、言語、国家、肌の色など様々な違いがあった。しかし、私たちはたくさん壁や国境を乗り越え、互いに認め合い、尊重し合うことができたのだ。そんな充実した日々を送っていく中で、私は大きなことに気がついたのだ。

それは、今までの自分は世界平和など大きなことばかり言っていて、海外の人どころかクラスメイトすらコミュニケーションができていなかったということだ。留学という国際的な現場で、「自分と違う人のことを受け入れ、理解する」ということがどんなに大切かを、教えてもらったように感じた。

別れを惜しみながらオーストラリアを去った私に待っていたのは、一年生に進級するクラス替えであった。帰国する飛行機の中で、私の決意はますます

す確かなものになっていた。

「自分を変えよう。」

留学での経験が大きな自信となり、私の心は新しい環境で輝く自分の姿で満たされていた。

新学期。留学での素晴らしい経験と、姉の言葉を胸に登校した。教室に入ると、何人かの女子が集まり、話をしていた。思い切って飛び込んでみると、様々な考えを持った人がいるということに、改めて気づかされた。そんな時にも、私は姉の言葉を思い出す。

「相手を理解しようと努力すること。」

この言葉は、今も私の心に深く刻まれている。

今、私はたくさん友達が囲まれ、とても幸せだ。何でも言い合える友達、切磋琢磨し合える友達、一緒にふざけてくれる友達。様々な考えを持つ友達がいて、どんなことも受け入れ合うことのできる関係であると思う。そんな友達に心から感謝し、これからも友達を大切にしていきたい。

最後に、私は最も大切なことに気づかされる。私をここまで導いてくれた姉の言葉の意味することには、まだ続きがあったのだ。

「相手を理解しようと努力すること。」

これは、私が幼い頃から夢見てきた「世界平和の実現」にも同じことが言えるのではないか。人と人とが互いに分かり合うためには「相手を理解しようと努力すること」が不可欠で、それが真の世界平和を実現するために最も大切なことであると、私は気づいたのだ。

「相手を理解しようと努力すること。」

姉がくれた言葉をこれからも大切にして、世界平和の実現という大きな課題に、人生をかけて挑んでいきたい。

留学後にこの体験を海外の方に話す機会があり、その方はとても共感してくださいました。この時、相手を理解するために努力することに国や言葉の壁はなく、このことが私の目指す世界平和の実現に最も大切なのではないかと考えました。より多くの方にこの体験で得たことを伝えたいと思い文章にしました。

作文を書くに当たって